

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	My Stepジュニア南森町教室教室		
○保護者評価実施期間	R8年2月1日		～ R8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	R8年2月1日		～ R8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間での情報共有を行いながら、児童の状況に応じた支援を実施している。	支援前後に職員間で支援内容の確認や振り返りを行い、児童の状況を共有しながら支援を行っている。	ケース会議やミーティングを定期的実施し、支援方法の検討や支援の質の向上を図る。
2	児童一人ひとりの特性や発達状況に応じた個別支援を行っている。	アセスメントや日々の観察を基に個別支援計画を作成し、個別活動と集団活動を組み合わせた支援を実施している。	モニタリングや支援記録を活用し、支援計画の見直しや支援内容の改善を行う。
3	安全面に配慮した環境整備と安心して過ごせる支援環境を整えている。	安全管理マニュアルの整備や日々の環境確認を行い、児童が安心して活動できる環境づくりに努めている。	事故防止や非常時対応に関する研修や訓練を継続し、安全管理体制の強化を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員体制が少人数であり、支援体制の安定化が課題である。	職員配置や人員体制の余裕が少ないため、支援の分担が偏る可能性がある。	職員配置の見直しや人材確保により、安定した支援体制の構築を図る。
2	地域や関係機関との連携機会が限られている。	事業所内支援が中心となり、地域との交流機会が少ない。	関係機関との情報共有や地域活動への参加を通じて、地域連携の強化を図る。
3	家族支援プログラム等の実施機会が限られている。	支援時間や人員体制の制約により実施機会が少ない。	保護者への情報提供や相談機会の充実を図り、家庭支援の強化を行う。